



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年1月27日  
上場取引所 東

上場会社名 ジャパンフーズ株式会社  
 コード番号 2599 URL http://www.japanfoods.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細井 富夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 尾上 晋司 TEL 0475-35-2211  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	12,217	△39.5	1,019	214.5	1,009	207.6	462	171.0
27年3月期第3四半期	20,209	△22.0	324	△74.6	328	△74.1	170	△77.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	95.86	—
27年3月期第3四半期	35.37	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	19,711	7,398	37.5	1,534.01
27年3月期	15,302	7,064	46.2	1,464.85

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 7,398百万円 27年3月期 7,064百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
28年3月期	—	10.00	—		
28年3月期(予想)				17.00	27.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	△32.8	680	1,043.1	700	1,059.8	390	—	80.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。

詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	5,100,000株	27年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	277,112株	27年3月期	277,112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	4,822,888株	27年3月期3Q	4,822,888株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての内容等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策などを背景に、原油価格の下落、円安を受けた海外観光客の増加に伴う消費の後押しもあり、概ね堅調に推移いたしました。日経平均は、出だし堅調に推移したものの、世界景気の減速懸念で乱高下いたしました。海外の経済情勢は、中国の景気後退懸念や欧州での難民問題や治安への不安を受け、世界的に株価がくずれ、先行き不透明な状況が続いております。

飲料業界におきましては、昨年の消費税増税後の落ち込みの反動により、業界全体の販売数量は、昨年同期比3%増(飲料総研調べ)となりました。

天候面では、春先は好天に恵まれましたが、梅雨から夏場の前半にかけては雨も多く涼しい季節となりました。また、台風一過後は一時的に猛暑となるものの、お盆明けには一転して気温が低下する等目まぐるしい気候の変化となりました。秋口は平年並みの気温でスタートしましたが、11月以降は例年になく気温が高く、降雪も少ないなど、暖冬傾向が続いております。

このような状況下、積極的な営業活動による新規商材の獲得効果もあり、当第3四半期累計期間における受託製造数は31,659千ケース(前期比0.5%増)となりました。

この結果、売上高につきましては、一部客先の取引形態変更に伴い減少しましたが、利益面におきましては、電力・燃料費等のユーティリティ関連コストの低減に努めた結果、営業利益、経常利益とも前期に比べ増加となりました。当期純利益につきましては、国庫補助金収入により特別利益1,076百万円、固定資産圧縮損771百万円及び関係会社株式評価損380百万円などによる特別損失合計1,184百万円を計上しております。

以上により、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は12,217百万円(前期比39.5%減)、営業利益は1,019百万円(前期比214.5%増)、経常利益は1,009百万円(前期比207.6%増)、四半期純利益は462百万円(前期比171.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、9,150百万円となり、前事業年度末に比べ5,925百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金や国庫補助金等の受入れによる未収入金の増加及び今後の設備投資などのための長期借入金4,000百万円の借入に伴う預け金(借入金のうち未使用部分を借入先に預託しておくもの)が増加したことによるものであります。

固定資産は、10,560百万円となり、前事業年度末に比べ1,517百万円減少いたしました。これは主に、上記の国庫補助金収入に伴う圧縮記帳並びに減価償却による有形固定資産の減少及び評価損による関係会社株式の減少によるものであります。

この結果、総資産は、19,711百万円となり、前事業年度末に比べ4,408百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、5,617百万円となり、前事業年度末に比べ2,417百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金及び未払法人税等が増加したことによるものであります。

固定負債は、6,695百万円となり、前事業年度末に比べ1,657百万円増加いたしました。これは主に、上記の今後の設備投資などのための長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、12,312百万円となり、前事業年度末に比べ4,075百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、7,398百万円となり、前事業年度末に比べ333百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年3月期の業績予想については、平成27年4月24日に公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、建物(建物附属を除く)及びリース資産を除く有形固定資産の減価償却方法については、従来主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

国内飲料受託製造業においては一層の競争が予想されており、新生産技術の採用による競争力の強化が必要な状況となっており、新生産技術への対応投資は大型化する傾向にあることから、今後の設備投資に関わる基本方針を策定いたしました。

かかる状況を契機として、有形固定資産の使用実態を見直した結果、安定した設備の稼動が見込まれること、また、その資産価値は均等に減価していることと見込まれることから、使用可能期間にわたり、費用を均等に配分することが、経済的実態をより適切に反映すると判断し、変更するものであります。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の減価償却費は323,565千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ323,565千円増加しております。

(会計上の見積りの変更)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

第1四半期会計期間において、当社が保有する一部の有形固定資産について、設備投資に関わる基本方針に基づき、耐用年数を残存使用見込期間まで短縮しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の減価償却費は64,896千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ64,896千円減少しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	360,417	1,579,655
電子記録債権	596,612	673,760
売掛金	1,694,831	1,528,144
商品及び製品	29,296	17,981
原材料及び貯蔵品	180,207	91,166
未収入金	37,280	1,103,190
預け金	—	4,000,000
その他	326,021	156,712
<b>流動資産合計</b>	<b>3,224,668</b>	<b>9,150,611</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	7,763,949	7,772,668
減価償却累計額	△4,610,106	△4,806,143
建物(純額)	3,153,842	2,966,525
構築物	1,849,204	1,852,020
減価償却累計額	△1,538,257	△1,568,164
構築物(純額)	310,947	283,855
機械及び装置	25,690,821	25,568,751
減価償却累計額	△19,715,936	△20,545,819
機械及び装置(純額)	5,974,884	5,022,932
車両運搬具	48,601	48,331
減価償却累計額	△40,833	△41,558
車両運搬具(純額)	7,768	6,773
工具、器具及び備品	612,661	635,605
減価償却累計額	△495,721	△521,965
工具、器具及び備品(純額)	116,940	113,640
土地	440,755	440,755
リース資産	47,500	47,500
減価償却累計額	△7,686	△11,658
リース資産(純額)	39,813	35,841
建設仮勘定	47,678	9,320
<b>有形固定資産合計</b>	<b>10,092,629</b>	<b>8,879,644</b>
無形固定資産	149,290	203,928
投資その他の資産	1,836,017	1,477,142
<b>固定資産合計</b>	<b>12,077,937</b>	<b>10,560,714</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,302,605</b>	<b>19,711,325</b>

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	705,166	905,437
短期借入金	150,000	—
1年内返済予定の長期借入金	440,252	2,426,252
リース債務	4,161	4,390
未払金	1,577,635	1,404,171
未払法人税等	—	539,174
未払消費税等	186,089	120,416
賞与引当金	93,000	79,650
役員賞与引当金	—	46,800
その他	43,893	91,198
流動負債合計	3,200,198	5,617,491
固定負債		
長期借入金	4,935,387	6,629,198
リース債務	40,912	37,590
退職給付引当金	60,887	28,342
その他	389	346
固定負債合計	5,037,577	6,695,477
負債合計	8,237,776	12,312,968
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	628,800	628,800
資本剰余金	272,400	272,400
利益剰余金	6,307,425	6,639,508
自己株式	△264,622	△264,622
株主資本合計	6,944,002	7,276,085
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	121,094	122,508
繰延ヘッジ損益	△266	△237
評価・換算差額等合計	120,827	122,271
純資産合計	7,064,829	7,398,356
負債純資産合計	15,302,605	19,711,325

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	20,209,096	12,217,520
売上原価	18,442,478	9,755,398
売上総利益	1,766,617	2,462,122
販売費及び一般管理費	1,442,420	1,442,529
営業利益	324,197	1,019,592
営業外収益		
受取利息	9,014	9,900
受取配当金	2,048	2,230
その他	28,888	19,558
営業外収益合計	39,951	31,689
営業外費用		
支払利息	24,905	26,805
支払補償費	8,093	11,378
その他	3,034	3,935
営業外費用合計	36,033	42,119
経常利益	328,114	1,009,163
特別利益		
受取保険金	16,108	—
受取補償金	8,900	—
国庫補助金	—	1,076,373
特別利益合計	25,008	1,076,373
特別損失		
減損損失	—	13,938
固定資産除却損	22,381	6,605
固定資産売却損	1,141	—
固定資産圧縮損	—	771,926
製品廃棄負担金	—	11,333
関係会社株式評価損	—	380,703
特別損失合計	23,523	1,184,507
税引前四半期純利益	329,599	901,029
法人税、住民税及び事業税	84,103	522,000
法人税等調整額	74,920	△83,271
法人税等合計	159,023	438,728
四半期純利益	170,575	462,301



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。